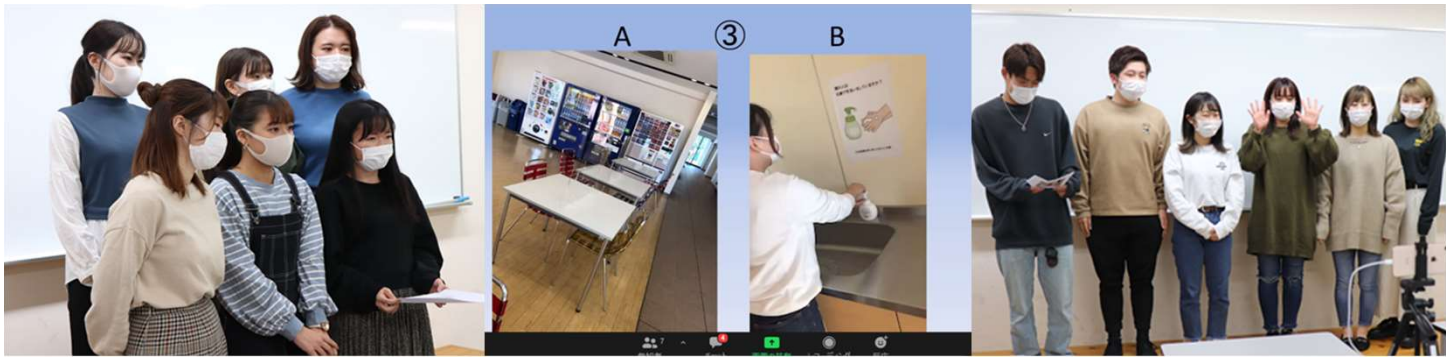
2020年10月23日
ベトナム・ドンナイ技術大学の学生とOnline交流しました

▲　NIMSの参加学生

日本医療科学大学（NIMS）とドンナイ技術大学（DNTU）は、2015年に学術協定を締結しています。

昨年はNIMSの学生と教職員がDNTUを5日間訪れました。今年11月にはDNTUの学生と教職員が7日間来学し、NIMSで実施されるプログラムに参加予定でした。しかし2020年度は、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策措置により、招へいが困難となり、この度オンラインでの交流会を計画・実施する運びとなりました。

NIMSからは看護学科 服部助教と国際看護論履修の4年生52名、DNTUからは看護学科及び臨床検査学科の学生33名が参加し、教室からZoomで1時間半ほど交流を図りました。



▲　発表の様子

コロナ禍の大学生活や感染予防について双方がパワーポイントを使用して発表し、情報交換と質疑応答を行いました。

感染予防やコロナによる変化として、検温や手指のアルコール消毒の実施、病院実習の代わりに学内で実習していることなどを発表しました。

DNTUの学生は、実施している感染予防策として、他人と2メートル間隔を保つことや、マスクの再利用禁止など、本学とは異なったルールを発表しました。特に実習先の病院では厳しく感染予防を行っているとのことでした。

学生達が他国の状況についてより身近に知ることができる、良い機会になりました。

▶　発表はそれぞれの母国語で行い、通訳はベトナム出身・日本在住の馬場アンさんにご協力頂きました。

▼　DNTUの学生

▲　質疑応答の様子

30分程の質疑応答では、DNTUの学生からの、実習についての質問に始まり、交友関係の話にまで広がりました。学生達から笑い声が上がるほど、和気あいあいとした雰囲気で、笑顔で交流会を締めくくることができました。

DNTUの教職員からも「大変良い交流会だった」とコメント頂き、今後の交流を期待されています。このようにコロナ禍でも協定校との交流を続け、学生達がより広い視野を持つきっかけができるよう、これからも国際交流に力を入れてまいります。

本プログラムを実施するにあたり、ご支援いただきました国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）日本・アジア青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプランに、心より感謝申し上げます。